

都市再生整備計画事業 事後評価シート

宇治橋周辺地区

令和5年9月

京都府宇治市

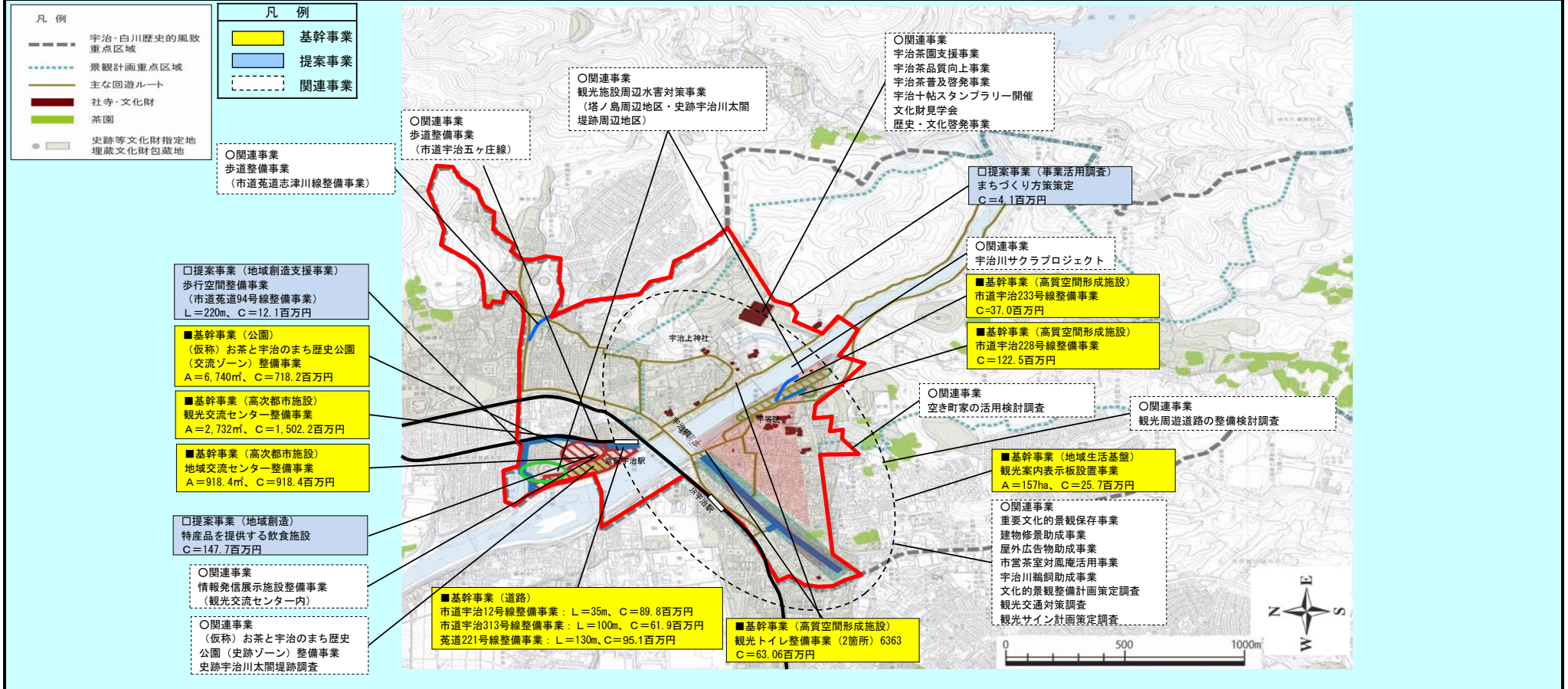
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府		市町村名	宇治市		地区名	宇治橋周辺地区			面積	157ha		
	平成27年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	3,784.3百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路【市道宇治12号線整備事業、市道宇治313号線整備事業、市道菟道221号線整備事業】、公園【(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園(交流ゾーン)整備事業】、地域生活基盤施設【観光サイン等整備事業】、高次都市施設【観光交流センター整備事業、地域交流センター整備事業】									
			提案事業	地域創造支援事業【歩行空間整備事業(市道菟道94号線)】、事業活用調査【観光サイン計画策定調査】									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	-		-			-				
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設【市道宇治233号線整備事業、市道宇治228号線整備事業、観光トイレ整備事業】		観光客等の安全で快適な周遊ルート確保のため歩行者空間・環境の整備、電線地中化等を行う。			-				
			提案事業	地域創造支援事業【特産品を提供する飲食施設((仮称)お茶と宇治のまち歴史公園(交流ゾーン))】、事業活用調査【まちづくり方策調査】		飲食施設は、宇治市の特産品である「宇治茶」をPRするための施設であり、観光交流センター・地域交流センターと一体で整備することにより、観光振興・地域振興の効果をより高めることができる。 まちづくり方策調査は、事業成果及び実施過程の検証調査を行う			-				
交付期間の変更		当初	平成27年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			高次都市施設について、事業者提案による施設管理運営を導入した結果、指標、数値目標を一部見直した。					
		変更	平成27年度～令和2年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	近隣施設を含めた歴史・文化の情報発信施設の利用者数の合計	人/年	88,564	H25	203,564	R2	モニタリング	評価値	△	あり なし ●	コロナ禍の影響で、観光行動全体が減少している。また、施設の開館時期が遅れるなど、計画策定時には想定できなかった状況が発生している。	なし
	指標2	近隣施設を含めた地域交流施設の利用者数の合計	人/年	104,403	H25	132,711	R2	-	33,283	△	あり なし ●	コロナ禍の影響で、接触機会の減少、高齢者が中心の地域活動が縮小するなどの状況がみられる。またコロナ禍で地域交流センターの開館が遅れたことも地域活動の停滞につながったと考えられる。	なし
	指標3	周遊観光に関する満足度	%	68.7	H23	80.0	R2	-	73.1	△	あり なし ●	コロナ禍の影響で、非接触型のコミュニケーションの比重が高くなり、観光案内サイン等の施設機能の評価につながりにくくなっている。	なし
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	特になし。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

宇治橋周辺地区 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：宇治茶と歴史・文化の香るまちづくりの実現 目標1 宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する 目標2 宇治の歴史・文化や景観を守り育てる地域コミュニティを活性化させる 目標3 歴史・文化遺産を活かした周遊観光の促進	近隣施設を含めた歴史・文化の情報発信施設の利用者数の合計	88,564	H25	203,564 R2 50,671 R3
	近隣施設を含めた地域交流施設の利用者数の合計	104,403	H25	132,711 R2 33,283 R3
	周遊観光に関する満足度	%	68.7	H23



まちの課題の変化

□コロナ禍の影響で、外出自粛や観光行動そのものの変容により、各種施設の利用者数が減少している。非接触型、分散型(密を避ける)行動により、より一層、周遊型、拠点分散型の観光行動が好まれるようになると推察される。観光案内等についてもSNSやインターネットなどを駆使するようになっており、情報受発信についても双方向かつ多様なチャンネルに対応することが求められるようになってきている。

□地域活動の担い手の高齢化の進行とこのたびのコロナ禍の影響が重なり、地域交流センターの開館が宇治市民会館・公民館閉館から期間が空いたことで、縮小・休止が増えている。コロナ禍の沈静化と密接に関わるが、身近な施設や場所を活用した地域活動の再開などを支援しつつ、地域コミュニティの再活性化への支援も重要と考えられる。

□道路整備、サイン整備、観光トイレ整備など、宇治橋駅周辺の周遊観光については、安全・快適な環境が整ってきている。観光動向調査では、宇治観光全体の満足度だけでなく、施設整備効果による満足度を直接的に計る設間による検証が必要である。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

今回の事業実施により、一定まちづくりの基盤が整ったことから、新たに策定した宇治市歴史的風致維持向上計画(第2期)に即した事業を、課題解消のため、継続して実施していく。